



現場で活躍する女性達

このコーナーは、月に1回、現場で活躍する女性に業務内容や仕事に対するやりがい、個人の抱負などを語ってもらうコーナーです。



近物レックス株式会社

中部支社

亀井 志保子さん



PROFILE

2010年入社。愛知県出身。入社後は本社の運行管理部に配属となり、運行管理の基礎を学んだ後、中部支社の配車スタッフとして異動しました。前職では特殊輸送の会社に勤務しており危険物・天然ガス等の輸送に携わっていましたが、同じ業界でも違う輸送モードやグローバルな世界を経験したく、現在の会社に入社致しました。同じ業界を選んだ理由は、人々の生活に密着し支える物流に魅力を感じているからです。休日は友人や家族とショッピングや美味しいお店巡りや温泉巡り等でリフレッシュしています。

～担当業務について教えてください～

現在所属する中部支社は愛知・岐阜・三重・静岡・長野・山梨県に所在する27店舗で運行する路線配車の業務を担当しております。日々、各支店から出発する車両編成、運行ドライバーのシフト管理、協力会社の手配管理、予算編成や実績管理などが主な業務となっております。その中でも日々の店所間輸送に発生する立寄り店所の変更管理や台風・雪などの悪天候による運行車のダイヤ調整、並びにドライバー調整や確保などがメインの業務となっております。安全、確実にお客様の商品を輸送するため、各支店、協力会社などと連携を取りながらサポートをしております。

～仕事に対するやりがい～

日々変動する物量や当日の運休、車両故障などが発生した場合、どのように対応していくのか、迅速かつより安全で確実な対応を求められます。イレギュラー時は、自社運行車の立寄り店所変更や協力会社様を駆使して、別の路線便を確保するなどできる限りの検討を行って、お客様の商品が無事に到着することが出来たときにやりがいを感じます。繁忙期は各配車スタッフとともに協力し、ひとりでは想像もつかないアドバイスなどを意見交換しながら工夫・改善をしています。また各店所や協力会社様からご指名で相談を受けることにもやりがいを感じております。



～今後の抱負や目標について～

昨今の物流業界を取り巻く環境は、年々厳しさを増しドライバー不足は極めて深刻な問題となっております。しかしその中でも安定してお客様に当社を選んでいただけるかが今後の目標です。そのためには、輸送品質の向上、安全輸送の確保、ドライバー職の意識改善が重要だと考えます。リスクヘッジも重要ですが、マインドチェンジもしていかなければなりません。“路線は生き物”と上司に言われた言葉を忘れずに、女性ならではの視点やアイデアを生かし物事の判断や気配りを心掛け、一人でも多くの後輩たちがこの会社で活躍し、長期的に働きたいと思う環境作りに努めていきたいです。



香川県の特別名勝「栗林公園」にて